

自己評価・外部評価 評価票

H29年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況			コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げること で理念を明確化している 自己評価のとおりである。
(2) 適切な人材の育成								
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				実際の利用者サービスを踏まえ、スタッフ個々が当該サービスの特徴について理解を深め、より質の高いサービス提供を目指している 自己評価のとおりである。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーター の判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				研修計画を作成し、スタッフの学習の場を確保するとともに、事業所会議で定期的に学習会を開催している また月刊誌を購入し、自己学習も推進している 自己評価のとおりである。
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				上記の研修や学習会等に併せて、スタッフの能力を十分に発揮できるよう経験や能力に合わせた配置を検討している 自己評価のとおりである。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			一体型事業所であるため、常に情報を共有できる環境である。今後ともよりタイムリーなサービス対応ができるよう努めていきたい 自己評価のとおりである。

自己評価・外部評価 評価票

H29年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況			コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い		
(3)適切な組織体制の構築								
①	組織マネジメントの取組	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○		利用者増加に伴い、柔軟なサービス提供ができるよう人材配置や整備に努めている	自己評価のとおりである。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	○			適時適切な開催がされている 要望や助言に対しても随時対応している	自己評価のとおりである。
(4)適切な情報提供・共有のための基盤整備								
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている	○			関係者間で社内メールや事業所間カンファレンス等を活用し、情報の更新・共有を行っている	自己評価のとおりである。
(5)安全管理の徹底								
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている(交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○		施設内の安全や災害に関する学習会に参加している 災害伝言ダイヤルを用いた災害時の対応について、定期的に演習を行っている	自己評価のとおりである。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている	○			利用者にかかわる書類の取り扱いのルールを決め、周知されている	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない		
									コメント
Ⅱ 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映させている 今後は利用している他のサービスの情報の情報も反映できるよう取り組みたい 担当者で実施している	自己評価のとおりである。
		12	介護・看護の面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				担当者で実施している	自己評価のとおりである。
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識した計画作成を心掛けている	自己評価のとおりである。
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている			○		利用者の現状に沿った(対する)計画になりがちである。 利用者の状況に合わせて多職種での定期的な検討(カンファレンス等)を行ってはいるが、計画書に反映できていない。	自己評価のとおりである。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの設定日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状況変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟な運営に努めている	自己評価のとおりである。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映			○		看護スタッフの定期的な訪問と介護・看護の継続的なモニタリングを実施し、利用者等の状況変化を把握している またそれらを踏まえた新たな課題を計画に反映できるよう努めている	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況			コメント		
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い			
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービスの提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせて専門職が関わるよう分担してサービス提供している	自己評価のとおりである。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			定期的に学習会を開催し、必要な知識の習得のため指導を受けている また必要に応じてすぐに相談し、助言をもらえる体制作りを行っている	自己評価のとおりである。
(4)利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービス契約時に情報提供と説明を実施している	自己評価のとおりである。
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書交付の際、目標と内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している	自己評価のとおりである。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				担当ケアマネジャーも含め、適時適切な報告・相談を実施している	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況			コメント		
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い			
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメントの実践									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的なモニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行っている	自己評価のとおりである。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			地域内のサービス(フォーマル・インフォーマル)の活用も含め、より積極的な提案が必要である	自己評価のとおりである。
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				担当者会議以外にも必要に応じてカンファレンスを開催するなど、積極的な情報提供を行っている	自己評価のとおりである。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)			○		自費サービスで適宜受診に付き添っている。保険外サービスやインフォーマルケア等の活用については、笛吹市から情報をいただいているが、現状、今後ケアマネにも協力を得ながら検討していきたい。	地域ごとに状況が異なり随時変化している中で、笛吹市でも一覧表のような情報提供は難しい。利用者からの困りごとや要望事項などは、関係機関へ積極的に問い合わせを行い一緒に検討していく。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスの提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				退所・退院前のカンファレンスに参加し、必要な情報の共有や対応の検討を実施している 利用者に応じて退院時共同指導加算を算定している	自己評価のとおりである。
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な役割分担や連携体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)			○		施設(各事業・サービス)として「連携」を意識した取り組みに着手している 専門職が適時適切に関わり、多職種等へ発信できる流れを構築した	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない		
									コメント
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				議事録をホームページに掲載している	自己評価のとおりである。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			定期巡回サービスについて、笛吹市広報に掲載された。サービスの知名度向上のため、今後もより積極的な広報周知が必要である	自己評価のとおりである。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している	自己評価のとおりである。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等には限定しておらず、広く地域に展開している。	自己評価のとおりである。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)				○	県内の定期巡回サービス事業所との情報交換からサービスの現状等に関係者間で共有している(他事業所の見学実施)。今後、笛吹市と密に連携を取り合い、具体的な問題提起をする場を持ちたい。	自己評価のとおりである。

自己評価・外部評価 評価票

H29年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況			コメント		
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い			
								全く できて いない	
Ⅲ 結果評価 (Outcome)									
①	サービス導入後の利 用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られ ている		○			「在宅生活の継続」という観点ではどの 利用者も目標の達成ができている 今後は保険外サービスやインフォーマ ルケア等も視野に入れた計画目標の 作成とその達成に努めていきたい	自己評価のとおりである
②	在宅生活の継続に対 する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に 対する安心感が得られている	○				24時間対応(相談を含め)サービスと いう点で、利用者や家族の十分な安心 感が得られている	自己評価のとおりである